

設備工事情報シート	空調	Ⅲ-A-1	制定	2004年4月1日
			改訂	2016年3月1日
Ⅲ. 検査要領	ドレン配管		検査方法	

1. 目的・概要

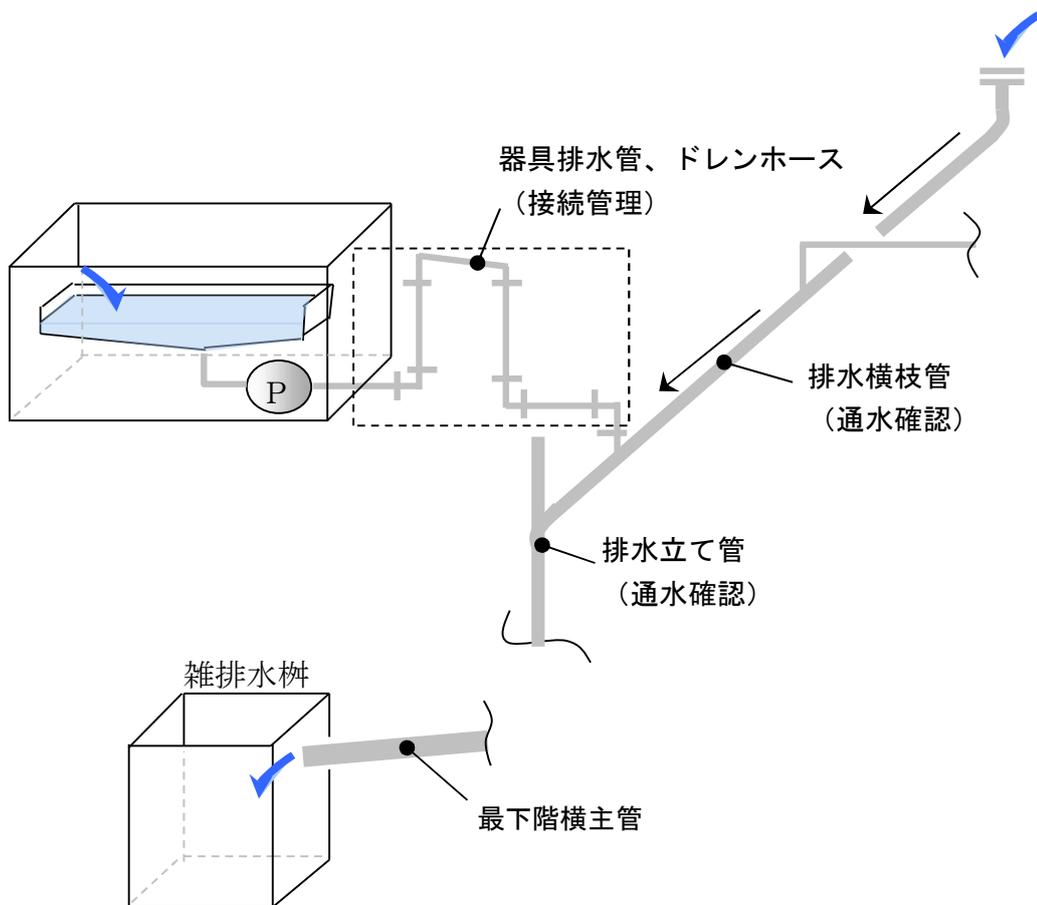
ドレンアップメカを搭載した、天吊形及び天井埋込形エアコンにおける、ドレン配管の漏水防止の為
 VPドレン配管の接合及び漏水確認を、目視で行う試験方法

2. 手順

- (1) 排水横枝管を排水立て管接続まで施工完了。(排水立て管末端は排水可能としておく)
- (2) 排水横枝管末端より水を入れ通水確認。
- (3) 同上作業時、排水横枝管及び排水立て管外部で漏水が無いかを確認。
- (4) 器具排水管部を施工。(接続は差込代の標線の確認及び有色接着剤の使用で管理)
- (5) 機器と器具排水管接続部のドレンホースは差込代で接続確認。
- (6) 保温工事及び電源工事完了後、機器本体のドレンパンに水を入れ、ドレンアップメカの機能を
 確認。(ドレンホース内の流水を確認)

3. 合 否：合格基準は以下の通り。

- ・ 排水横枝管、排水立て管 → 外観での漏水が無い、水が末端まで流れている。
- ・ 器具排水管、ドレンホース → 差込代の標線等で差込及び有色接着剤の塗布が目視で確認できる。
 ドレンアップメカの動作が正常(音、排水)



* 注 意 :

- (1) 点検口は配管接続部(ドレンホース部)が容易に確認出来る位置に設置する。
- (2) ドレンホースのバンド継手が本体機器接続部では甘いので特に注意して施工する。
- (3) 試験方法は、上記以外に満水試験等の方法もあるので、関係者と協議の上試験をする。